

MONYACA7 BAL用 MAXDAC アダプター

MONYACA7 BALにMAXシリーズのDACを使えるようにするアダプターです。BT接続です特徴

- ・コンフィグ書き換えで、こまかな動作設定ができます。
- ・SBC/AACに対応しています。今どきのサブスクが気楽に使えるので消費が抑えます。
- ・技適取得済みモジュールのBM83SM1を使用してます。＜人によってはとても大事。
- ・DACは、MAXDACシリーズが使用できます。

(BT対応機種のみ。i2cモデル,**Nutube DAC, Submini DACを除く**)

その他、最新情報は以下のページを参照してください。

<https://www.telnet.jp/~mia/sb/>

※基板レジスト色はロットにより変更になることがあります。

※回路図はありません。基板の部品定数やパターンから読み取ってください。

免責事項

- 1) 本基板は実験基板であり、親切なキットではありません。 技術サポート等は一切行いません。
- 2) 基板の動作の完全性（安全性、動作性を含む）は一切保証されるものではありません。
- 3) 本資料を参考に組み立て（部品調達を含む）が可能な方を対象としています。
- 4) 部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
- 5) 本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
- 6) 本基板の著作権は放棄していません。 同一のアートワークでの販売は禁止します。

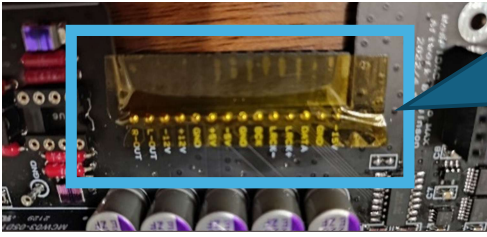
黄色の部品は付属しています。

定数	部品番号等	数量
メイン基板		1
ケース	3Dプリントケース	1
33 2012サイズ	R1-R6 千石 RK73B2ATTD330J	6
1K 2012サイズ	R7-R9 千石 RK73B2ATTD102J	3
2.2K 2012サイズ	R10,R11 千石 RK73B2ATTD222J	2
4.7K 2012サイズ	R12-R15 千石 RK73B2ATTD472J	4
10K 2012サイズ	R16-R18 千石 RK73B2ATTD103J	3
0.1uF 2012	C1,C2 秋月 117576	2
1uF 25V PMLCAP	C5-C12 秋月 107397	8
47uF 16V	C13 秋月 118377	1
47uF 63V	C14 秋月 116868	1
220uF 25V	C15-C19 秋月 116870	5
1000pF 16V ECHU	C20 秋月 115328	1
LED 2012サイズ（何色でも。BT、イルミ用）	秋月 106422 D1-D5	5
表面実装用USBコネクタ microBメス リバース	秋月 105254	1
4.4mm ジャック NBA1-24-001	千石など	1
ピンヘッダー 1x2	秋月 108593(10個入り)	5
ピンヘッダ 2×5 (10P) 2mmピッチ	秋月 106074	1
2mmジャンパピン	秋月 103902	1
ピンソケット 1x14	秋月 109667	1
MAU105	秋月 115618	1
MAU106	秋月 104133	1
MAU108	秋月 104134	1
BM83SM1	秋月 130004 Digkey/mouserなど。BM83SM1-00TBといった形でハイフン以降の型番が違うものが存在するが、ファームの違いらしいです。どうせ書き換えるので、どれでもいいと思われます。	1
74VHC164MTCX	U1,U2	2
TC7WU04FU	U3 秋月 110462	1
SI8640BB-B-IS1/ADUM140E0BRZ/MAX14930FASE+	U4 アイソレータ オプション。使う時は、シルクの指示通りパターンカットをしてください	1
0.1uF 50V PMLCAP	秋月 107396 C3,C4アイソレータ使うときに必要	2

免責事項

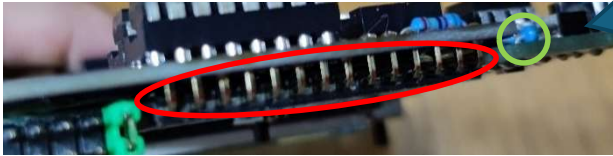
- 1) 本基板は実験基板であり、親切なキットではありません。 技術サポート等は一切行いません。
- 2) 基板の動作の完全性（安全性、動作性を含む）は一切保証されるものではありません。
- 3) 本資料を参考に組み立て（部品調達を含む）が可能な方を対象としています。
- 4) 部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
- 5) 本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
- 6) 本基板の著作権は放棄していません。 同一のアートワークでの販売は禁止します。

・組み立てについて



ピンは曲げて挿入。基板面ツライチカットの上、絶縁してください。
 なお、ソケットは、基板裏から刺します。ご注意ください。

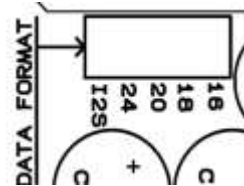
・各DACボードへのコネクタ実装について



DACとMAXの接続コネクタ（赤丸）は、DACとMAXの間に隙間（緑丸）が少しできるように浮かせ気味にしてください。

・DATA FORMATの設定

DAC基板に合わせてデータ・フォーマットを切り替えることができます。
 各DAC基板の注意に従ってください。
 基板裏面に選択できるフォーマットが記載されています。



・ゲインについて

ゲインが欲しい場合はmonyaca本体側のゲインをアップしてください。

・使えるDACボードについて

MAXDACシリーズのDACボードの使用が可能ですが、以下の物は使えません。

i2c接続が必要なDAC

※本機はBluetooth専用なので使えません

Nutube DACや、Submini DAC。

※本機はMAXDACの出力をそのまま受けるとゲインがたかすぎて飽和するため、
 入力にアッテネータを設けております。アッテネータによりB電圧が絞られてしまうため音が出ません。

